事業報告

2020年度（2020年4月～2021年3月）

Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

事　業　概　要

＜2020年度の内容＞

当財団は、設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところであり、2011年４月に公益財団法人に移行し、これまで以上にガバナンスや透明性の向上をめざした組織の運営を図るとともに、市民活動団体を総合的に支援する組織として、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」、「未来ファンドおうみ」の５本の事業を柱に、様々な主体のネットワークによる地域づくりの促進に努めてきたところである。

2020年度は、３月に策定した新たな中期計画（2020年度～2024年度）に基づき、地域や社会の課題解決に自主的に取り組むＮＰＯ等の支援や、ＮＰＯ等と自治体、企業、教育機関等の様々な組織や団体とのネットワークを広げ、協働による地域づくりの支援活動を実施した。

こうした中、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでの生活様式や社会の仕組みなど、多方面において様々な変化がもたらされた。当財団においても、事務所の移転や評議員会・理事会の書面開催をはじめ、第16期おうみ未来塾開講の１年延期、未来ファンドおうみ助成事業やフォーラム・セミナーの実施等に大きな影響が生じた。

一方、コロナ禍の中、４７都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金の取り組みに参画し、新型コロナウイルス感染症の影響により困難を抱える人々の支援に取り組むとともに、フォーラムやセミナーのオンラインによる開催、会議や情報交換などの業務のオンライン化に取り組んだ。またオンラインによる研修の機会をとらまえ、積極的な職員のスキルの向上に取り組んだ。

1　報告事項

2020年度事業執行状況（報告）

目次

【１】情報提供事業

（１）情報交流誌「おうみネット」の発行　（２）未来ファンドおうみ通信の発行

（３）インターネットの活用

【２】組織基盤強化事業・市民活動支援事業

（１）相談業務　（２）市民活動ふらっとルーム、ワークコーナーの運営

（３）フォーラム、セミナー等の開催　（４）講座等の開催

（５）職員研修事業　（６）NPOサポート業務

（７）市民活動支援センターとの連携　（８）社会的インパクト評価普及事業

【３】人材育成事業

（１）第16期おうみ未来塾　（２）おうみ未来塾運営委員会

【４】未来ファンドおうみ事業

１．助成金事業

（１）2019年度助成事業　（２）2020年度助成事業

（３）助成先団体中間報告会＆相談会　（４）2021年度助成事業

（５）「４７コロナ基金」および「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」の取り組み

（６）未来ファンドおうみ運営委員会

２．寄付金受領

【５】運営、総務

１．運営　２．各種委員会等への参画

３．職員研修、勉強会　４．賛助会員

【1】情報提供事業

<総括>

・情報交流誌「おうみネット」において、「寄付を、考えてみる」をテーマに第113号から3回連載の特集を行った。2月25日に開催したファンドレイジングセミナーと連動させることにより、寄付文化の醸成を図った。

・インターネットの活用においては、寄付等におけるクレジット決済の導入や相談者の利便性の向上などを図るため、ホームページの一部改修を行った。

（1）情報交流誌「おうみネット」の発行

■発行回数　年間3回（7月、12月、3月）

■装丁　A4サイズ8頁

■発行部数　10,000部/回

■配布先　県内外の市民活動団体、個人、公共施設、企業など2,200カ所

①第112号（2020年8月1日発行）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、発行日を7月1日から8月1日に変更した。

■特集　分かちあえる手段。シェアしながら仕事を育てる

～「サンキューファインホース夢プロジェクト」がみせてくれたもの～

（滋賀県聴覚障害者福祉協会びわこみみの里）

■Changeにチャレンジ

・特定非営利活動法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ（草津市/障害者支援）…(助成団体)

・特定非営利活動法人BRAH=art.（ブラフアート）（大津市/地域支援）

・循環型未来食堂 みんなの食堂（彦根市/社会福祉）

・HOTEL講大津百町（大津市/地域振興）…（世間よし）

■巻頭エッセイ　　株式会社コクヨ工業滋賀 開発グループ　田中 沙季さん

■おうみ未来塾リレーエッセイ　　15期生　細江 美和子さん

■応援BOX

②第113号（2020年12月1日発行）

■特集　「寄付を、考えてみる」

～インタビュー　合同会社喜代七 代表　山元 圭太さん～

■「未来ファンドおうみ」助成事業の案内

■Changeにチャレンジ

・西の湖あそび隊（東近江市/地域づくり）…（助成団体）

・社会福祉法人やまなみ会・やまなみ工房（甲賀市/社会福祉）

・一般社団法人ママパスポートコミュニティ（守山市/子育て支援）

・Biwako Backroads（米原市／地域振興）…（世間よし）

■巻頭エッセイ　　株式会社日吉 総務部総務課　赤塚 愛さん

■おうみ未来塾リレーエッセイ　15 期生　山本 尚路さん

■応援 BOX

③第 114 号（2021 年 3 月 1 日発行）

■特集　「寄付を、考えてみる」Ⅱ

事例 1「こんなに応援されるとは」観音ガール/観音の里コーディネーター

對馬 佳菜子さん

事例 2「買い物が応援に」　合同会社 MediArt 代表社員　植田 淳平さん

■Change にチャレンジ

・音と花と人と（大津市/社会福祉）…（助成団体）

・NPO 法人好きと生きる（大津市/若者支援）

・特定非営利活動法人 縁活（栗東市/障害者支援）

・37company 合同会社（大津市／地域振興）…（世間よし）

■巻頭エッセイ　TOTO 株式会社滋賀工場・滋賀第二工場　工場長　枝國 聡司さん

■おうみ未来塾リレーエッセイ　　9 期生　南村 多津恵さん

■応援 BOX

（2）「未来ファンドおうみ通信」の発行

■発行回数　年間 4 回（7 月、11 月、12 月、3 月）

■装丁　A4 サイズ 4 頁

■発行部数　2,300 部/回

■配布先　県内外の市民活動団体、個人、公共施設、企業など 2,200 カ所

①第 20 号（2020 年 8 月 1 日発行）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、発行日を 7 月 1 日から 8 月 1 日に変更した。

■未来ファンドおうみ助成事業 2020 年度 助成先団体の活動がはじまりました。

■2020 年度助成団体の活動紹介

・びわこ市民活動応援基金 A　「ぼてじゃこトラスト」

・びわ湖の日基金　「白鳥川の景観を良くする会」

■【寄付募集】

滋賀・コロナウイルス対策困窮者支援基金のお知らせ

②第 21 号（2020 年 11 月 1 日発行）

■未来ファンドおうみ「助成先団体 中間報告会&相談会」を開催しました。

■2020 年度助成団体の活動紹介

・笑顔あふれるコープしが基金　「特定非営利活動法人　やんちゃ寺」

・びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①　「ママパスポートこうか」

・びわこ市民活動応援基金Ａ　「特定非営利活動法人　あめんど」

■２０２１年度の助成事業にご寄付ありがとうございます！

③第 22 号（2020 年 12 月 1 日発行）

■2021 年度未来ファンドおうみ助成事業の募集が始まりました！

■2020 年度助成団体の活動紹介

・げんさん食育ＮＰＯ基金　「特定非営利活動法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ」

・積水化成品基金　「ＮＰＯ法人 環境と農業の融合を考える会　鹿深の杜」

・びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①「東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会」

■助成金説明会(未来ファンドおうみ)でよくある Q&A

④第 23 号（2021 年 3 月 1 日発行）

■2020 年度未来ファンドおうみ助成事業　成果発表会を開催します！！

■2020 年度助成団体の活動紹介

・湖国文学活動応援むらさき基金 「西の湖あそび隊」

・ナカザワＮＥＯフレンドシップ基金

「特定非営利活動法人長浜市民国際交流協会」

・笑顔あふれるコープしが基金　「音と花と人と」

・びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②

「特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島」

（3）インターネットの活用

①ホームページ

■アクセス数　　20,293 件（前年 19,279 件）

■ページビュー数　53,123 件（前年 59,800 件）

②メールマガジン「おうみネットｅマガジン」

■登録読者数　895 件（前年 926 件）

■配信回数（591 号～626 号）　36 回（前年 36 回）

【2】組織基盤強化事業・市民活動支援事業

<総括>

・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、4月11日～7月21日までふらっとルームを休館したことから、ふらっとルームおよびワークコーナー利用者数が大幅な減少となった。

・相談においては、電話・Eメールによる相談が増加（18件→24件）したものの、来館による相談が大幅に減少（50件→22件）したことから、全体としては、昨年度より減少した。

・フォーラムやセミナーの開催においては、コロナの影響により、ほとんどがオンラインによる開催となった。オンラインの活用については、これまで参加が得られにくかった子育て中の人たちや県外からの参加が得られたという側面があったが、グループワーク等を行うセミナー等においては、開催面に課題が残った。

（1）相談業務

①相談

相談件数　46件（前年68件）

②県庁出張相談　（6月に6回）

定款変更　6件（前年24件）

事業報告等受付　44件（前年12件）

（2）市民活動ふらっとルーム、ワークコーナーの運営

ふらっとルーム利用者数　183人（前年493人）

ワークコーナー利用者数　117人（前年467人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、4月11日～7月21日まで休館した。

（3）フォーラム、セミナー等の開催

①市民活動フォーラム　<インパクトレポート>　**<写真1>**

●テーマ　「With コロナ時代の新しい市民活動」

～コロナ禍のピンチをチャンスに変える～

■開催日等　2020年12月19日（土）　オンライン

■目的

コロナ禍で従来の市民活動の内容等が大きく変わろうとしている。今回のフォーラムでは、様々な制約があるなか、精力的に活動されている人たちの事例を共有し、コロナ時代の市民活動について考えることとする。

■内容

○事例発表

・NPO法人 BRAH=art.(ブラフアート)理事長　岩原　勇気さん

「コロナを温めて、本質を知る」

・NPO 法人 CASN 理事長　谷口　久美子さん

「子どもたちの声に耳を傾けながら・・・」

・地域づくりアドバイザー　大平　正道さん

「コロナ禍における市民活動のあり方」

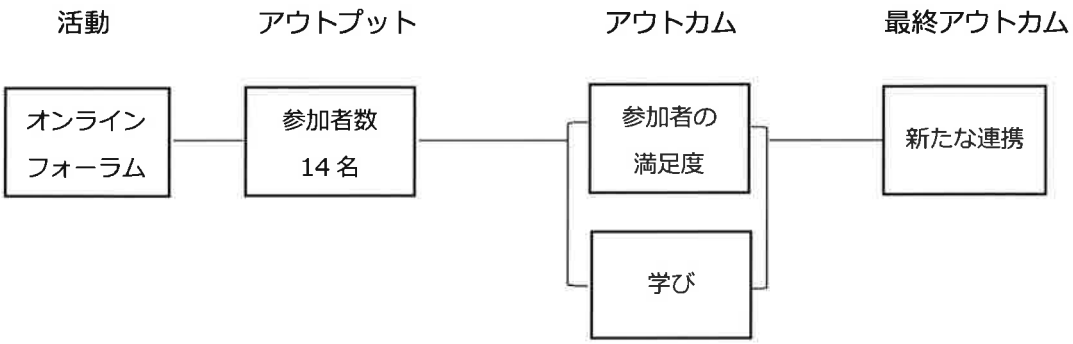
○グループワーク

○フリートーク

■事業の提供価値

・コロナ禍のなか、これまでの市民活動の歩みを振り返るとともに、with コロナ、after コロナにおける市民活動についてのヒントを得る

・他の団体との交流を図る



■主な KPI（指標抽出項目）

・参加者数

・参加者アンケート回答者数（11 名/14 名）

・チャットによる意見

■参加者の満足度・学び（アンケート結果）

・参加者満足度　満足度　5 点満点　平均　4.09（n＝11）

・参加者の学び　学びがあった　5 点満点　平均　4.36（n＝11）

■参加者アンケート（抜粋）

・他の地域の活動の様子や活動に対する想いを知ることができた。

・大変な状況の中でも前向きに取り組まれている方々が身近にいるという発見と安心、活動されている実績や経験からくる説得力が、自分たちにもきっとできるという後押しになった。

・市民活動の柔軟性と創造性をまなびました。

■振り返りポイント

・コロナ禍のなか、オンライン活用によるあらたな人とのつながりやコミュニケーションの持ち方など、様々な事例を知ることができた。

・オンラインで行う際、事例発表者とのコミュニケーションをどのようにとるか課題があった。今回、事例発表者３名と対面による事前打ち合わせを行ったことで、事例発表者間でセミナーの主旨を共有することでき、一貫性のある内容になった。このことは今後のオンラインセミナーの進め方に参考になった。

②ファンドレイジングセミナー　<インパクトレポート>

●テーマ　NPO・市民団体のためのクラウドファンディング入門講座
～クラウドファンディングのはじめ方から、支援の活かし方まで～

■開催日時　2021 年 2 月 25 日（木）　オンライン

■目的

寄付集めに苦慮している NPO や市民団体、クラウドファンディングをやってみたいけど何からどうはじめてよいか分からない団体向けに、クラウドファンディングの仕組みや活用方法、事例、企画立案方法等について学んでもらう。

■内容

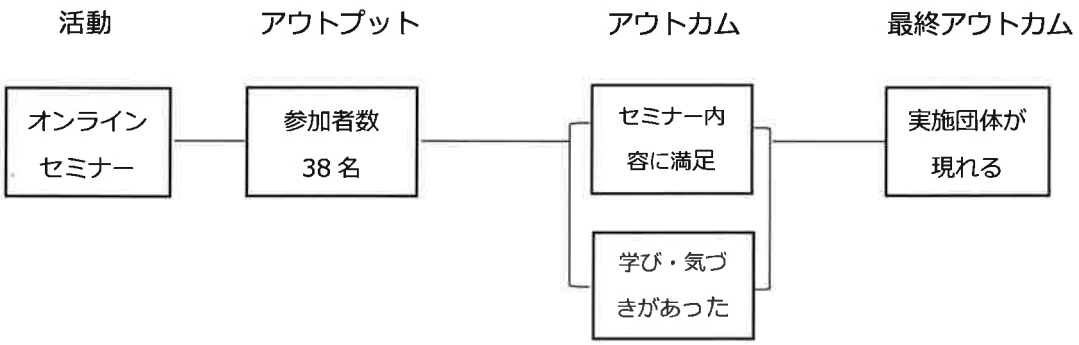
〇講師　　西村　昌弘さん（ならファンドレイジングラボ代表）
　　對馬　佳菜子さん（観音ガール/観音の里コーディネーター）

〇講義内容

【第 1 部】クラウドファンディングセミナー（西村 昌弘さん）
①クラウドファンディングの基本（種類・実施パターン・選択方法・実施フロー）
②プロジェクト事例紹介
③お金が集まるメカニズムを考える
④プロジェクト成功のカギ
【第 2 部】事例発表「『いも観音さん』を後世に伝えたい」（對馬 佳菜子さん）
【質疑応答】

■事業の提供価値

・クラウドファンディングの基本を理解し、プロジェクトに挑戦してみたくなる



■主な KPI（指標抽出項目）

・参加者数

・参加者アンケート回答者数（20 名/38 名）

・チャットによる意見

■参加者の満足度・学び（アンケート結果）

・参加者満足度　第 1 部　満足度　5 点満点　平均　4.35（n＝20）

第 2 部　満足度　5 点満点　平均　4.40（n＝20）

・参加者にとって新たな学びがあった　5 点満点　平均　4.40（n＝20）

■参加者アンケート（抜粋）

・クラウドファンディングで期待するものは、資金のみと思われがちであるがそれ以上の収穫があった

・様々な事例を知ることができ、プロジェクト起案に対するイメージが具体的になった。成功のポイントを示されていたものが印象的だった。

・クラファンを実施する理由を改めて学ぶことが出来ました。成功したクラファンを実績とすることで信頼につながる事業として認められるのはとても良いと思いました。

■振り返りポイント

・クラウドファンディングについての講義と実際の成功事例の話を組み合わせることにより、参加者に、より具体的・実践的なイメージをつかんでもらうことができた。

・参加者アンケートの中に、センター内の講師用パソコンの音声が途切れる事象があった、との指摘があった。今回パソコンダイレクトの音声で配信したこと、ネット環境の安定性などの要因が考えられることから、今後、対処することとする。

③ふらっとサロン

遺贈寄付講座（職員向け）　　**<写真 2>**

遺贈寄付への取り組みを進めるにあたり、職員の理解を深めるため「遺贈寄付を学ぶ勉強会」を開催した。遺贈寄付の取り組みについては、今後、市民向けの学習会を開催していくこととする。

（コロナ禍であることを勘案し、職員向け学習会として開催した）

■講師　江波千佳さん（税理士）

■開催日/場所　2021 年 3 月 17 日(水)　ふらっとルーム

（4）講座等の開催

NPO 決算講座＆税理士個別相談会 **<写真 3,4>**

■内容　「日々の会計処理や決算書の作成等を学びます」、専門家相談

■講師　会計編　村上義弘さん（NPO 会計支援センター 会計アドバイザー）

税務編　横井昭次さん（税理士）

■開催日/場所

会計編　2021 年 2 月 2 日（火）　県民交流センター206 会議室

税務編　2021 年 2 月 4 日（木）　県民交流センター206 会議室

■参加者　会計編 7 名、税務編 6 名

専門家相談（会計編）2 件

■参加者の理解度（アンケート結果）

・参加者理解度（会計編）　67%（n＝7）

・参加者理解度（税務編）　72%（n＝6）

※アンケート調査において、今回の講座の内容について「理解できた」「おおよそ理解できた」と回答があった参加者の割合（アンケート 3 項目の平均割合）

（5）職員研修事業

①2020 年度滋賀県職員主任主事・主任技師級研修

■講義　「多様な主体との協働」

加留部　貴行さん（九州大学大学院　客員准教授）

■開催日/場所　2020 年 9 月 11 日（金）　県庁 新館 大会議室

■参加者 116 名

②滋賀県階層別職員研修　選択型スキルアップコース「協働を進めるための基礎講座」

■講義　「多様な主体と協働する力を事例を通じて身につける」

山元　圭太さん（合同会社 喜代七 代表）

■事例発表

・「家棟川にビワマスを取り戻せ！」

家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクトについて

佐藤　祐一さん（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター　専門研究員）

・「NPO 法人家棟川流域観光船の活動について」

松沢　松治さん（NPO 法人家棟川流域観光船　理事長）

・ＴＯＴＯ水環境基金による地域課題解決活動について

～市民団体との協働による水環境の再生保全～

枝國　聡司さん（TOTO 株式会社　滋賀工場・滋賀第二工場長）

・「野洲市と NPO 法人家棟川流域観光船との協働による環境保全の取り組み」

山本　美妃さん（野洲市環境経済部環境課　専門員）

■開催日/場所　　2020 年 10 月 16 日（金）　県庁 東館 大会議室

■参加者 24 名

③課題解決型協働推進セミナー　<インパクトレポート>

●テーマ　「新時代の市民活動のあり方・つながり方」

～with コロナの時代に社会はどう変わるのか？この先の未来を創り出すには。

こんな時だからこそ、市民と共に活動を!!～

■開催日等　2020 年 10 月 15 日（木）　オンライン

■目的

コロナ禍において、社会全体のシステムは変わりつつあり、「市民活動」のあり方も問われる機会となっている。今回のセミナーでは、全国の先進的な事例の紹介と、これからの個人、NPO、行政、企業の役割は何か、「変わること」「変わらないこと」、社会課題の解決に立ち向かう「協働推進」のあり方を学ぶこととする。

■内容

〇講師　　山元　圭太さん（合同会社 喜代七 代表）

〇講義内容

① コロナ禍の協働推進の実績、課題

② 新しい時代にむけて新たな協働を進める団体の紹介

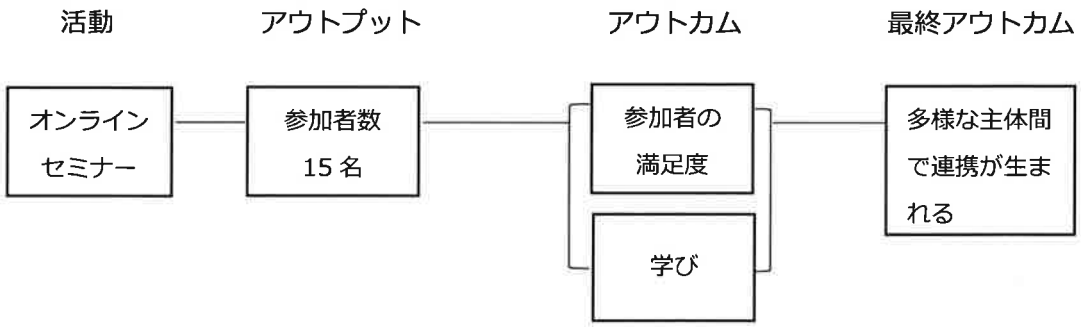
③ 活動団体への新しい支援の事例

〇グループワーク・発表・質疑応答

■事業の提供価値

・多様な主体との連携により、成果を生み出す重要性に気づく

・with コロナ社会での協働のポイントを知ってもらう



■主な KPI（指標抽出項目）

・参加者数

・参加者アンケート回答者数（8名／15名）

・チャットによる意見

■参加者の満足度・学び（アンケート結果）

・参加者満足度　満足度　5点満点　平均　4.12（n＝8）

・参加者の学び　学びがあった　5点満点　平均　4.12（n＝8）

・オンラインセミナーの進行の感想　5点満点　平均　3.75（n＝8）

■参加者アンケート（抜粋）

・オンラインの学びが初体験で、講師の方や発言される方の表情もしっかり見えながら参加でき、内容もよりわかりやすい感がありました。

・コレクティブインパクトという社会課題解決への取り組み、自分たちの存在価値の言語化や強みの認識、エンターテイメントからの支援の発展性を学べた。

・雲南市の取り組み姿勢、チャレンジする人の増やし方は新鮮でした。

■振り返りポイント

・コロナ禍のなか、セミナーの論点が大きすぎて、参加者の希望に沿った内容であったか疑問が残る。もっと絞った論点にするべきではなかったか。

・主催者の立場でオンラインセミナーを開催するのが初めてということもあり、グループワーク後の情報がわかりづらい、司会と進行の人数配分、グループワーク内での進行役などについて、不満や提案があった。

・オンラインセミナーを開催するには、講師の方との事前打ち合わせを十分に行うことの必要性に気づいた。

（6）NPOサポート業務

未来ファンドおうみ2020年度助成採択団体を主たる対象として、それら団体の活動支援等のため、職員が活動現場等を訪問あるいは面談してサポートを行った。

●団体、事業数　15団体（→13団体）　●訪問・面談回数　延べ25回

団　体　名	訪問・面談回数
ぼてじゃこトラスト	1
子どもの笑顔が広がる大津の会	1
特定非営利活動法人　あめんど	2
白鳥川の景観を良くする会	1
NPO法人　環境と農業の融合を考える会　鹿深の杜	1
特定非営利活動法人　やんちゃ寺	2
音と花と人と	3
コノケア	1

特定非営利活動法人　長浜市民国際交流協会	1
特定非営利活動法人　滋賀自閉症研究会たんぽぽ	1
西の湖あそび隊	2
東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会	3
ママパスポートこうか	2
NPO 法人　コミュニティねっとわーく高島	3
一般社団法人　フードバンクびわ湖	1

<写真 5～8>

（７）市民活動支援センターとの連携

●第１回市民活動支援センター意見交換会

■開催日/場所　　2020 年９月４日（金）　ながはま市民協働センター　　**<写真 9>**

■内容　　「新型コロナウイルス感染症による滋賀県の各市民団体への影響について」他

■参加者　13 団体 22 名

●第２回市民活動支援センター意見交換会

■開催日/場所　　2020 年12月15日（火）　甲賀市まちづくり活動センター

■内容　　「法人の設立相談について、中間支援センターとして知っておくべきこと」他

■参加者　13 団体 22 名

●第３回市民活動支援センター意見交換会

■開催日/場所　　2021 年３月３日（水）　オンライン

■内容　先進地研修「特定非営利活動法人 せき･まちづくり NPO ぶうめらん」(岐阜県関市)

■参加者　９団体 12 名

（８）社会的インパクト評価普及事業　<インパクトレポート>

①社会的インパクト評価オンラインセミナー（全２回）

●テーマ　　「事業の価値を再発見する評価」入門編

■開催日等

第１回　2021 年１月 28 日（木）オンライン

第２回　2021 年３月 23 日（火）オンライン

■目的

社会的インパクト評価については、現時点では十分定着したものとはいえず、普及促進を図る必要がある。このことからＮＰＯ等各団体にとって、評価は「楽しいこと」、「役にたつこと」を実感してもらい、参加者が自団体に持ち帰って「やってみよう」になるきっかけとなることを目的とする。また淡海ネットワークセンター職員が伴走支援をするに当たってのスキルを身に着けることを目的とする。

■内容

〇講師

千葉 直紀さん、 鎌田 淳さん（一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ）

〇講義

第１回 ・評価の基本（評価の目的・活用を理解する）

・社会的インパクト評価とは、社会的インパクトマネジメントとは

・事業の成果や価値を言語化する

第２回 ・課題の共有

・目標とする成果を生み出す事業づくり・事業改善のためのセオリー構築（ロジックモデル作成ワーク）

・成果指標・目標値の設定

・社会的インパクト評価を活用したマネジメントの回し方

〇グループワーク

■事業の提供価値

・「社会的インパクト評価」の概要、求められる社会背景について理解してもらう

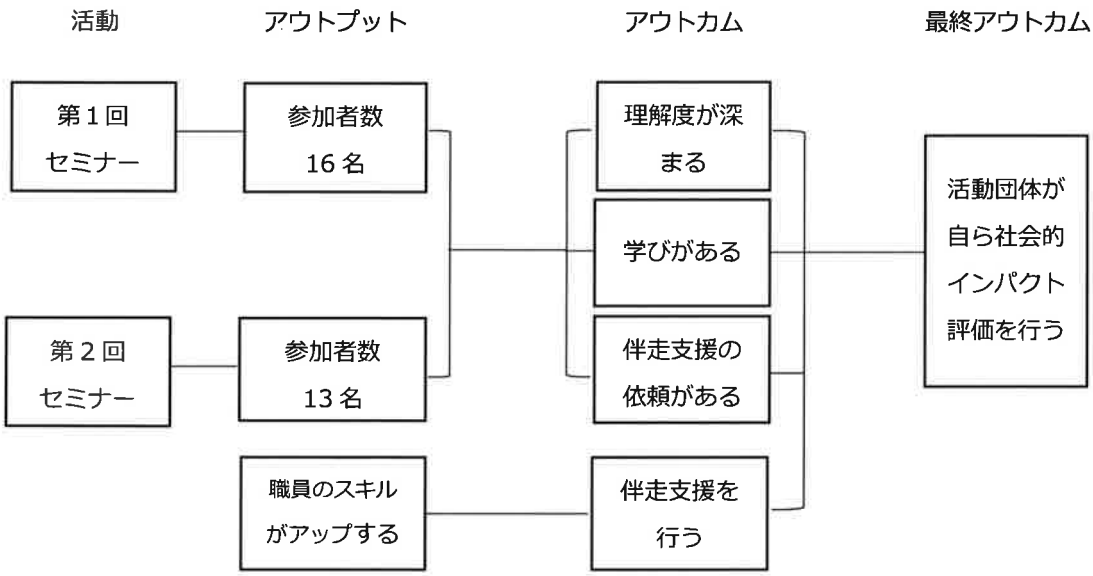
・「社会的インパクト評価」や「社会的インパクト評価」の実践イメージを掴んでもらう

・「評価」や「価値」そして「社会的インパクト」の意味を知ってもらう

・ロジックモデルの全体像を理解してもらう

・現状課題の特定と問題解析の方法を知ってもらう

・アウトカムの設定を理解してもらう



■主な KPI（指標抽出項目）

・参加者数

・参加者アンケート（第１回 14 名／16 名、第２回 7 名／13 名）

・チャットによる意見

・出前講座ヒアリング

■参加者の満足度・学び（アンケート結果）

・参加者満足度（第１回）　満足度　５点満点　平均　4.14（n＝14）

・参加者満足度（第２回）　満足度　５点満点　平均　4.57（n＝7）

・参加者理解度（第１回）　理解度　５点満点　平均　4.13（n＝14）

・参加者理解度（第２回）　理解度　５点満点　平均　4.46（n＝7）

■参加者アンケート（抜粋）

・評価は事実特定と価値判断

・「評価」をいかにマネジメントに活かすか

・短期と長期で目標設定することで、事業の優先順位が明確になるのではないか

・アウトカムの設定方法について、解りやすく理解できた。

■振り返りポイント

・オンラインの強みにグループワークや参加者の意見をリアルに共有できることが挙げられる。今回、自己紹介や演習時に Google アプリの jamboard を使ったが、参加者から評判が良かった。また、開催後のアンケートも Google アプリを使用することで、アンケート集計や管理面で効率的に行えた。

・今回は同じテーマを２回に分けて行った。１回目開催後、参加者へのヒアリング（感想・課題等の聞き取り）を行い、その情報を反映させて２回目の講座を行った。継続的に行う事業については、セミナーの開催でもって完了ではなく、このようなヒアリングの重要性に気づいた。

・セミナーを録画し、編集後に Youtube にアップする予定である。活動団体への案内や個別支援に活用することで、セミナー開催の意義やセンター内の資産価値のアップが図れる。

②出前講座

出前講座（ヒアリング）の実施　１３団体　（3/9～3/17）

【３】人材育成事業（おうみ未来塾）

<総括>

・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、おうみ未来塾第１６期の開催については、１年延期することとした。

・延期に伴い、2020 年度においては、カリキュラムの見直しをはじめコロナ後の地域人材育成のあり方など、おうみ未来塾のあり方について、おうみ未来塾運営委員会において検討を行った。

（１）第１６期おうみ未来塾

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、おうみ未来塾第１６期の開催については、１年延期することとした。

●おうみ未来塾の見直し

■卒塾生、市民活動を行っている人、学識経験者等へのヒアリング

おうみ未来塾のあり方を検討するに当たり、卒塾生、市民活動を行っている人、学識経験者等（12 人）に対し、ヒアリングを行った。内容については、ホームページ・フェイスブックで紹介している。

■市民活動フォーラムの活用

市民活動フォーラムを未来塾の見直し検討における場として活用した。具体的には、コロナ禍における市民活動が今後どのように展開されていくのかとの視点など、フォーラムでの意見等を参考とした。

（２） おうみ未来塾運営委員会

●運営委員

・北村裕明　滋賀大学経済学部特任教授

・藤井絢子　NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表

・岡﨑昌之　法政大学名誉教授

●開催日/場所

・第１回　2020 年　8 月　7 日（金）　淡海ネットワークセンター

・第２回　2021 年　2 月　5 日（金）　淡海ネットワークセンター

・第３回　2021 年　3 月 26 日（金）　淡海ネットワークセンター

【4】未来ファンドおうみ事業

<総括>

・2020 年度助成事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が実施できなかった団体、事業内容・スケジュールの変更など事業を縮小せざるを得ない団体が発生した。

・４７都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金の取り組みに参画することとし、【滋賀の基金】として、「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」を創設し、新型コロナウイルス感染症の影響により困難を抱える人々の支援に取り組んだ。

1　助成金事業

（1）2019 年度助成事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、助成先団体成果発表会は中止した。

そのため、助成先団体が今後の運営や活動の継続・発展等に活用してもらえるよう、審査委員からの実績報告書のフィードバックシートを作成・送付した。

■事業数　１４団体/１４事業　助成額 2,499,000 円

<びわこ市民活動応援基金>　３団体　900,000 円

ぼてじゃこトラスト、八幡山の景観を良くする会、子どもの笑顔が広がる大津の会

<びわ湖の日基金>　２団体　543,000 円

滋賀大学「環境学習支援士」会、山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

<積水化成品基金>　１団体　200,000 円

NPO 法人環境と農業の融合を考える会　鹿深の杜

<笑顔あふれるコープしが基金>　３団体　300,000 円

音と花と人と、フードバンクびわ湖、異才ネットワーク

<ナカザワ NEO フレンドシップ基金>　１団体　100,000 円

特定非営利活動法人長浜市民国際交流協会

<げんさん食育 NPO 基金>　３団体　300,000 円

特定非営利活動法人あめんど、大津市障がい児ホリデースクール北班、

認定特定非営利活動法人つどい

<湖国文学活動応援むらさき基金>

採択事業なし

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金>　１団体　156,000 円

特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島

（2）2020 年度助成事業

※新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの団体で活動への影響が生じた。

・「子どもの笑顔が広がる大津の会」、「コノケア」は、新型コロナウイルス感染症の影響に

より、計画していた活動が実施できないことから事業中止となった。

・「特定非営利活動法人あめんど」、「特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部計画していた活動が実施できないことから助成金の減額が生じた。その他においても、多くの団体で内容やスケジュールの変更が発生した。

■採択団体数/事業数　14 団体/14 事業　　助成決定額 2,276,000 円
→(変更後)採択団体数/事業数　12 団体/12 事業　精算額 1,774,000 円

<びわこ市民活動応援基金 A>　３団体/３事業　　助成決定額 789,000 円
→２団体/２事業　　精算額　　426,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
ぼてじゃこトラスト【継続 4】	滋賀の魚つかみ文化を次世代につなぐ、楽しく遊び、学ぶ親子自然体験教室	大津市	250,000
子どもの笑顔が広がる大津の会【継続 2】	みんなのまち大津	大津市	300,000 →事業中止
特定非営利活動法人あめんど　【再】	子ども未来塾	大津市	239,000 →176,000

<びわ湖の日基金>　１団体/１事業　　助成決定額 288,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
白鳥川の景観を良くする会　【再】	白鳥川桜並木の育成管理で、市民憩いの散策路造りと環境学習支援	近江八幡市	288,000

<積水化成品基金>　１団体/1 事業　　助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
特定非営利活動法人環境と農業の融合を考える会 鹿深の杜【継続 3】	地域（里山）環境整備と環境学習の場の提供	甲賀市	200,000

<笑顔あふれるコープしが基金>　３団体/３事業　　助成決定額 300,000 円
→２団体/２事業　　精算額　　200,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
特定非営利活動法人やんちゃ寺【新規】	子どもの居場所・子ども食堂のための健全育成事業	草津市	100,000

音と花と人と 【継続 2】	音楽や草花と触れあい、茶話会で思いを共有できる継続的な活動	大津市	100,000
コノケア 【新規】	フリーペーパーで見つける母親の出会いの場の提供事業	大津市	100,000 →事業中止

<ナカザワ NEO フレンドシップ基金>　1 団体/ 1 事業　助成決定額 100,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
特定非営利活動法人長浜市民国際交流協会 【継続 3】	ながはまの未来につながる子どもを創る「多文化・親子育ちプログラム」	長浜市	100,000

<げんさん食育 NPO 基金>　1 団体/ 1 事業　助成決定額 100,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
特定非営利活動法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ 【再】	「食べたい」から育てる自閉症児の「コミュニケーション」	草津市	100,000

<湖国文学活動応援むらさき基金>　1 団体/ 1 事業　助成決定額 100,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
西の湖あそび隊 【新規】	「あづちのふるさとばなし」音声アーカイブの作成と公開	近江八幡市	100,000

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①>　2 団体/ 2 事業　助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会 【新規】	100 年の森づくりビジョン　東近江市・あらゆる場面で木を使うプロジェクト	東近江市	100,000
ママパスポートこうか 【新規】	木育！妊婦さん、ママ、赤ちゃんに木を使う大切さを伝える	甲賀市	100,000

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②>　1 団体/ 1 事業　助成決定額 199,000 円
→　精算額　160,000 円

団体名	事業名	地域	助成確定額
特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島【継続 3】	森と人がつながる「たかしまの森へ行こう！プロジェクト」森林調査リーダー研修と炭焼き人材育成と炭の活用開発事業	高島市	199,000 →160,000

（3）助成先団体中間報告会＆相談会 **<写真 10>**

■開催日/場所　2020 年 10 月 17 日（土）　　県民交流センター203 会議室

■講師　山元　圭太さん（合同会社 喜代七　代表）

■参加団体数　12 団体　17 人

（4）2021 年度助成事業

●助成する基金の種類　8 基金

・びわこ市民活動応援基金【改訂】

・びわ湖の日基金

・積水化成品基金

・笑顔あふれるコープしが基金

・ナカザワ NEO フレンドシップ基金

・げんさん食育 NPO 基金

・湖国文学活動応援むらさき基金

・びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金

●募集活動

■募集期間　2020 年 11 月 20 日～2021 年 1 月 15 日（57 日間）

■説明会　　5 回（12/5 大津、12/10 米原、12/12 守山、12/16 および 12/19 オンライン）

●審査

■一次審査（書類審査）　2021 年 2 月 7 日（日）

■二次審査（プレゼン）　2021 年 3 月 7 日（日）　**<写真 11>**

●審査委員

（運営委員）

・井手慎司　　滋賀県立大学　環境科学部教授　（委員長）

・歌代泰和　　パナソニック株式会社ＯＢ

・東登志也　　淡海ネットワークセンター　事務局長

（審査委員）

・遠藤惠子　　認定特定非営利活動法人まちづくりネット東近江　事務局長

・大平正道　　地域づくりアドバイザー

・福井久美子　　認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス　副理事長

●採択団体数/事業数　18 団体/18 事業　　助成決定額 3,043,000 円

<びわこ市民活動応援基金 A>　4 団体/4 事業　　助成決定額 872,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
番場の歴史を知り明日を考える会【新規】	近江古代史文庫創設事業	米原市	300,000
ぼてじゃこトラスト【継続 5】	滋賀の魚つかみ文化を次世代につなぐ、楽しく遊び、学ぶ親子自然体験教室	大津市	100,000
特定非営利活動法人やんちゃ寺【継続 2】	中高生の居場所・無料食堂における青少年健全育成事業	草津市	172,000
甲賀文化輝き【新規】	「それいけ！輝き忍術学園」動画配信・ミュージカル事業	甲賀市	300,000

<びわこ市民活動応援基金 C>　1 団体/1 事業　　助成決定額 100,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
みんなの家 EH【新規】	買物困難者のための 24H 無人ミニミニショップ運営（非営利）	米原市	100,000

<びわ湖の日基金>　3 団体/3 事業　　助成決定額 775,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会【再】	里山の自然の中で体験学習を楽しもう（来て見て作って自然教室）	甲賀市	280,000
いしみち里山保全グループ【新規】	石道 100 年の山林保全整備事業	長浜市	300,000
認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷【再】	水辺で遊び癒され楽しみのある川づくりで文化と医療を環境で繋ぐ	守山市	195,000

<積水化成品基金>　1 団体/1 事業　　助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人環境と農業の融合を考える会 鹿深の杜【継続 4】	地域（里山）環境整備と環境学習の場の提供Ⅱ	甲賀市	200,000

<笑顔あふれるコープしが基金>　2 団体/2 事業　　助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
大丈夫をみつけよう【新規】	自分はこれで良いんだと感じられる大丈夫食堂	甲賀市	100,000

人形劇団あっぷりけ【新規】	手作りの温かさと心に残るお話を伝承して行きたい	高島市	100,000

<ナカザワ NEO フレンドシップ基金>　1 団体/ 1 事業　助成決定額 100,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
愛荘町国際交流協会【新規】	遊びはボーダーレス！「たのしい」で繋がる多文化共生プログラム	愛荘町	100,000

<げんさん食育 NPO 基金>　2 団体/2 事業　助成決定額 196,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人あめんど　【再】	僕らが主役の課外授業　イチゴ一会	大津市	96,000
社会福祉法人　美輪湖の家　【新規】	安心安全な材料で本格的な「ケーキ」を利用者の自主協同の下生産	東近江市	100,000

<湖国文学活動応援むらさき基金>　3 団体/3 事業　助成決定額 300,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
くさつ・やぐら地蔵文化研究会【新規】	「地域の魅力再発見」 地域に生き、かつ残る民俗文化の魅力を冊子制作し地域づくりに活用	草津市	100,000
しなやかシニアの会【新規】	平家物語研究会	大津市	100,000
特定非営利活動法人高島藤樹会【新規】	近江聖人「中江藤樹」の思想の、音声付き紙芝居による教育現場等での啓発事業	高島市	100,000

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②>　1 団体/ 1 事業　助成決定額 300,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会　【継続 2】	100 年の森づくりビジョン　東近江市・あらゆる場面で木を使うプロジェクト	東近江市	300,000

（5）「４７コロナ基金」および「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」の取り組み

①「４７コロナ基金」の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況に直面している方を支えるため、４７都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金（４７コロナ基金）の取り組みに参画することとし、４７都道府県のうち、【滋賀の基金】として、「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」を創設した。

②「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」の創設および運用

■目的　新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況に直面している生活困窮者、子ども、高齢者などに対する支援に取り組む団体の活動に必要な資金を支援することを目的とする。

■募集期間　2020 年 9 月 1 日～9 月 15 日

■助成金額　1 団体当たり上限 100,000 円

■助成期間　2020 年 10 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

■選考方法　未来ファンドおうみ運営委員会において審査を行い決定

■原資　公益財団法人地域創造基金さなぶりの「４７コロナ基金」寄付金を原資とし、不足分については、淡海ネットワークセンター運営基金より 300,000 円を上限として充当を可とする

採択状況「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」　１団体/１事業　助成決定額 100,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
一般社団法人フードバンクびわ湖	フードバンクびわ湖　ワンペアレントサポートプロジェクト	甲賀市	100,000

※なお、2021 年度募集については、2021 年度助成事業「びわこ市民活動応援基金助成事業」の中に、「びわこ市民活動応援基金Ｃ」を新たに設けて実施した。

（6）未来ファンドおうみ運営委員会

●運営委員

・井手慎司　滋賀県立大学環境科学部教授　（委員長）

・歌代泰和　パナソニック株式会社ＯＢ

・東登志也　淡海ネットワークセンター事務局長

●開催日/場所

・第１回　2020 年 7 月 17 日　大津合同庁舎

・第２回　2020 年 10 月 2 日　淡海ネットワークセンター

2　寄付金受領

■受領額　3,010,500 円　（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）　**<写真 12>**

寄付者名	受領日	金額	基金名
有限会社豆藤	2020 年 6 月 26 日	200,000 円	びわ湖の日基金
「滋賀自然環境保全･学習ネットワーク」を考える有志	2020 年 10 月 7 日	1,785,883 円	びわ湖の日基金
個人	2020 年 11 月 2 日	360,000 円	びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金
株式会社ティーアンドジェー	2020 年 11 月 4 日	300,000 円	げんさん食育 NPO 基金
株式会社ロハス長浜	2020 年 11 月 9 日	4,617 円	びわ湖の日基金
一般社団法人比良里山クラブ	2020 年 11 月 12 日	30,000 円	びわ湖の日基金
積水化成品工業株式会社	2020 年 11 月 30 日	300,000 円	積水化成品基金
近江通商株式会社	2020 年 12 月 22 日	30,000 円	びわ湖の日基金

【5】運営、総務

<総括>

・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第 22 回評議員会ならびに第 35 回および第 36 回理事会を書面による開催とした。

・コロナの影響で、全国での研修・セミナー等の多くがオンラインによる開催となったことから、これらの機会を積極的に活用し、職員のスキルの向上に取り組んだ。また職員勉強会を 10 回実施し、スキルの向上につなげた。

1　ガバナンス

（1）評議員会の開催

①第２２回評議員会（決議の省略）

開催日　2020 年 6 月 18 日（木）

議題　・2019 年度決算の承認について
・理事の選任について
・2019 年度事業報告について
・2019 年度事業等評価について
・2020 年度事業計画について
・淡海文化振興財団中期計画について
・第 16 期おうみ未来塾のスケジュールの変更について
・47 都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金への参加の検討について

（2）理事会の開催

①第 35 回理事会（決議の省略）

開催日　2020 年 5 月 28 日（木）

議題　・2019 年度事業報告について
・2019 年度決算について
・2019 年度事業等評価について
・理事候補者について
・評議員会の招集および書面開催について
・理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
・第 34 回理事会における第 2 号議案(淡海文化振興財団中期計画)および第 3 号議案(2020 年度事業計画)の一部修正について
・第 16 期おうみ未来塾のスケジュールの変更について
・47 都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金への参加の検討について

②第 36 回理事会（決議の省略）

開催日　2020 年 8 月 25 日（火）

議題　・「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」の創設および運用について

③第 37 回理事会

開催日　2020 年 12 月 23 日(水)

議題　・事業執行状況およびファンドの運営状況について
・2021 年度予算の見積もり状況について
・理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
・財政的援助団体等の監査の結果について

④第 38 回理事会

開催日　2021 年 3 月 24 日(水)

議題　・2020 年度収支補正予算について
・2021 年度事業計画および収支予算等について
・公益財団法人淡海文化振興財団文書規程の全部を改正する規程について
・公益財団法人淡海文化振興財団財務規程の一部を改正する規程について
・理事長の報酬について
・第 23 回評議員会(決議の省略)の招集について

（3）監事監査の実施

①2019 年度監事監査

実施日　2020 年 5 月 14 日（木）

場所　滋賀県大津合同庁舎 6 A 会議室

内容　・2019 年度決算報告
・監査および監査報告

（４）月次理事長報告の実施、週次事務局会議の実施

2　各種委員会等への参画

会議名	出席職員
国体・全国障害者スポーツ大会 開催準備委員会	橋本
国体・全国障害者スポーツ大会 広報・県民運動専門委員会	東
国体・全国障害者スポーツ大会 募金・協賛推進特別委員会	東
滋賀県特定非営利活動法人指定委員会	東
淡海フィランソロピーネット運営委員会	東
滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会	原田・佐藤
守山市市民提案型まちづくり支援事業審査委員会	東
長浜市市民協働推進会議	東
大津市市民活動センターの指定管理にかかる第三者評価委員会	東
滋賀県共同募金会理事会	東
社会福祉法人しがぎん福祉基金評議員会	東

3　職員研修、勉強会

会議名	開催日	参加職員
グーグルアナリティクスを活用したアクセス解析から次の事業を考える	2020年7月 6 日（月）	佐藤・辻
「社会的インパクト評価」職員研修（毎回１ｈ） 全６回	2020年7月 8 日（水） ~2020年8月19日(水)	全員
オンラインでも会議上手になろう！参加者編（オンライン）	2020年7月15日（水）	北川
オンラインでも会議上手になろう！主催者編（オンライン）	2020年7月31日（金） 8月 4 日（火）	北川
社会的インパクトマネジメント研修【基礎コース】（オンライン）	2020年7月29日（水） 2020年7月31日（金） 2020年8月 4 日（火）	北川
まちづくり活動の企画と助成金	2020年8月 1 日（土）	佐藤・辻
ファンドレイジング・日本2020（オンライン）	2020年9月 5 日（土） ~2020年9月6日(日)	中川
はじめてのSNS・Web「候補がうまくいくヒント、お伝えします」	2020年9月 5 日（土）	辻
しがハブセミナー	2020年9月 9 日（水）	原田・北川
職員研修「ＮＰＯ法の概要と押さえておきたいポイント」	2020年9月23日（水）	全員

NPO の資金調達まるわかりセミナー（オンライン）	2020 年 10 月 4 日(日)	佐藤
「これからどうする？市民活動」（オンライン）	2020 年 10 月 17 日(土)	北川
職員研修「認定ファンドレイザー研修テキストに学ぶ」	2020 年 10 月 28 日(水)	全員
Salesforce オンライン講座初級編（オンライン）	2020 年 10 月 30 日(金)	佐藤
第 23 回日本たぬき学会京都大会	2020 年 10 月 31 日(土)	北川
社会的インパクト時代のマネジメント。自分とチームと社会が成長する事業づくりと組織づくり入門（オンライン）	2020 年 11 月 18 日(水)	北川
市民活動はじめの一歩~わたしの参加でつくるまちづくり	2020 年 11 月 29 日(日)	北川
寄付月間キックオフイベント（オンライン） ～コロナ禍で見えた寄付の可能性～	2020 年 12 月 1 日(火)	辻
職員研修「ＳＷＯＴ分析に学ぶ」	2020 年 12 月 3 日(木)	全員
認定ＮＰＯ法人入門講座	2020 年 12 月 8 日(火)	佐藤
職員研修「SWOT 分析による経営課題の把握から戦略を練る」	2021 年 1 月 6 日(水)	全員
Social Inpact Day 2020　オンラインセミナー	2021 年 1 月 23 日(土) ～26 日（火）	中川
公営法人（助成団体）の会計セミナー実務編（オンライン）	2021 年 2 月 3 日(水)	岡田
「労働者協同組合法　成立」記念フォーラム in 滋賀	2021 年 2 月 10 日(水)	佐藤・北川
社会的インパクト時代のマネジメント。自分とチームと社会が成長する事業づくりと組織づくり入門（オンライン）	2021 年 2 月 10 日(水)	中川
「問題意識を行動につなげる」セミナー	2021 年 2 月 20 日(土)	原田・佐藤・辻
「こどもたちをよろしく」上映会 「大津の子ども・若者と一緒にいるために」フォーラム	2021 年 3 月 13 日(土)	佐藤・辻

4　賛助会員　（2021 年 3 月 31 日現在）

■会員数（申込み）

個人　７５名　　団体 ４団体

■会費計（受領）

２７１，０００円

【写真１】

市民活動フォーラム（12/19）（オンライン）

【写真２】

職員向け遺贈寄付講座(3/17)

【写真３】

決算講座(会計編・2/2)

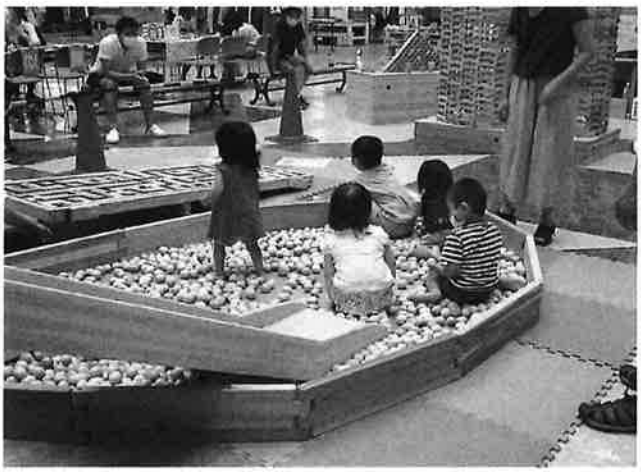
【写真４】

決算講座(税務編・2/4)

【写真５】

音と花と人とｸﾘｽﾏｽﾛﾋﾞｰｺﾝｻｰﾄ(12/12)

【写真６】



東近江)木を使う協議会(10/31)

【写真７】

ママパスポートこうか(3/12)

【写真８】

コミュニティねっとわーく高島 炭焼き体験会(11/21)

【写真９】

市民活動支援センターとの連携(9/4)

【写真１０】

助成先団体中間報告会＆相談会(10/17)

【写真１１】

2021年度助成事業二次審査(3/7)

【写真１２】

「滋賀自然環境保全・学習ネットワーク」を考える有志様より寄付金受領(10/7)